

(別記様式)

令和6年度 府立西乙訓高等学校 学校経営計画(スクールマネジメント) (計画段階・実施段階)

Table with 3 columns: 学校経営方針(中期経営目標), 前年度の成果と課題, 本年度学校経営の重点(短期経営目標). Content includes educational goals, previous year's achievements, and key focus areas for the current year.

Table with 5 columns: 評価領域, 重点目標, 具体的方策, 評価, 成果と課題. This table details evaluation areas, key objectives, specific strategies, evaluation methods, and expected outcomes.

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
生徒指導と特別活動	規範意識の醸成	<ul style="list-style-type: none"> ○校内でのスマートフォンやタブレット等の使用におけるルールや服装規定を守るように指導する。 ○委員会活動を通して、生徒自身から規範意識の醸成につながる取組を行う。 ○タブレット活用の際に必要な事項の指導を徹底し、SNS上の問題事象を未然に防ぐ。 ○授業に対する姿勢、意識の向上に向け、授業時間の巡回の強化等の指導を学校全体で行う。 		
	特別活動や部活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○球技大会や文化祭、体育祭をクラス委員と生徒会本部役員を中心とする生徒主体の企画・運営を行う。 ○積極的に部活動への加入を勧める。 ○部活動の加入状況を見ながら、部の精選や新設部について検討する。 		
	交通安全指導の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○各学期において警察署、PTA、行政（長岡京市、大山崎町）が連携・協力し交通安全指導を行う。 ○自転車の危険運転については、講習の他、SHRでの担任指導、学年集会や全校集会で啓発及び指導を行う。 		
	人権教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○いじめについては、教職員で本校のいじめ防止基本方針を確認し、全教職員が人権意識を持って全ての教育活動に取り組む。 ○年2回のいじめアンケートだけでなく、全教職員が生徒の言動に注意を払い、いじめ等の未然防止に努める。 ○個々の生徒の支援を行うとともに、必要に応じてSCや関係機関と連携する。 ○SNSの適正利用に向けて、啓発活動を行うと共にその能力を習得するための取組を行う。 ○多様性を尊重し他者と協調できる集団になるよう導く。 ○自らを大切に、他人を思いやる心を持つ生徒を育てるとともに、あらゆる教育活動を通じた人権教育の推進を図る。 		
健康安全	環境・美化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○学習環境を整えるために、日常の清掃活動をきめ細かく丁寧に行い、保健委員会を中心としたゴミの分別等、環境美化活動や広報活動を行うことで、学校全体の美化意識向上を図る。 ○ホームルーム教室だけでなく、他の清掃箇所も含めて日常の清掃活動をきめ細かく丁寧に実施するよう指導することで学習環境の向上につなげる。 ○体育館の一部をLED器具に更新したが、更に執務室やHR教室にもLED器具に更新することで、照度を高めるだけでなく省エネをすすめていく。 ○ごみ捨て、ペットボトルの分別等について保健部と各分掌が連携し、校内美化へとつなげていく。 		
	生徒の実態把握と支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○健康診断や宿泊を伴う行事の際には、保健調査を行い、健康状況を把握すると共に、学校医・関係職員と連携して健康管理を行う。 ○個々の生徒に対して関係教員や他分掌が連携し、丁寧な指導を行う。必要に応じてスクールカウンセラー及び、地域の専門機関（医療・特別支援センター・児童相談所等）との連携により、学校における教育相談及び特別支援教育を充実させる。 ○各種の補助制度や奨学金制度の発信についてはICTを活用することで、それぞれの生徒、保護者に必要な支援が届くように努めていく。 		
魅力ある学校づくり	広報活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ◇「志願者増加に向けた目標と対策」および「学校説明会・広報誌にしおつだより等の充実」 ○志願者増加に向けて、こまめに中学校との連携を図り「11月の志願者数120名（昨年96）、最終志願者を、のべ合計200名（昨年172）に増加させる。（目標 前期110（倍率2倍）中期120（定員+約10名）） ○乙訓地域を重点に近隣20中学校と連携を深め、また他の地域へ範囲を広げた広報活動を行い、志願者増加を図る。（11月調査 第1志望者数目標 乙訓地域：80（昨年41）京都市地域：70（昨年55）） ○学校説明会において、積極的にICTを活用するとともに、中学生や保護者を惹きつけるような本校の魅力・特色などを発信する。また、説明会の参加者を昨年より「100名増加」させる。（昨年度65名減） ○広報誌「にしおつだより」において、「約月1回発行」し、中学生などに学校の取組や情報、生徒の活躍、本校の魅力を発信する。また新たに地元中学校に向けた内容を取り上げて地元中学生へアピールする。 ◇「地域および在校生に向けた取組」と「WEB等による広報の充実」 ○地域に密着した生徒主体の活動を企画し、地域の期待に応える魅力ある西乙訓高校を発信する。 ○各取組を紐付けし、国際教育の学びをより実感させる。また広報・図書部主催イベント「にしおつDay」を新たに計画・開催し、学校生活をより楽しませ、生き生きしている様子を地域や中学生にアピールすることで本校の志願者増加につなげる。 ○校内モニターを活用し、在校生に向けた取組を行う。 ○ホームページをより見やすく使いやすいものに「リニューアル」して、学校情報や本校の魅力を、よりわかりやすく外部に発信する。 ○「全部活動、学期に1回はHP更新」するとともに、学校生活の様子をこまめにかつタイムリーにホームページ掲載する方法を構築し「全体の更新を平均週5回」を目指し、学校の様子を発信する。 ○様々なツール（YouTube・インスタグラム）を積極的に活用し、中学生や保護者にタイムリーな情報提供を行い、志願者の増加を図る。 		
	安心・安全な学校環境	<ul style="list-style-type: none"> ○定期的に施設設備の点検を行い、危険箇所の把握を行う。 ○技術職員による草刈作業時の安全確保について、生徒、教職員にもわかりやすく周知することで安心安全な教育環境を目指す。 ○衛生委員会で提起を受けた事項を中心に、保健部等と十分な協議のうえ、校内の衛生環境の向上、学習環境を整える。 		
	学年の取組（3年）	<ul style="list-style-type: none"> ○行事等を通じて協働する姿勢を養う。合わせて自己肯定感、自己有用感を培う。 ○高校3年生として相応しい学力を身につけさせ、全員の卒業を目指す。 ○キャリア教育を充実させ、適切な進路指導のもとで全員の卒業後の希望進路の実現を目指す。 		
	学年の取組（2年）	<ul style="list-style-type: none"> ○自分自身の言葉で考えを伝え、行動できる。学びの姿勢づくり ICTを積極的に活用し、学習習慣及び情報リテラシーを身につけさせる。 ○集団生活上の規則やマナーの指導の重視 学年集会での全体指導を含め、学年で統一した指導を徹底する。 ○人生の目標や職業観、進学意識の形成 進路選択サポートサービスの活用 小論文から始める自己目標・達成目標の可視化 ○オープンキャンパス、体験授業の積極的参加を促し、希望進路の実現に向けた意識の向上を図る。 ○通常3年生で実施している模擬面接だけでなく、2年生の後半で全生徒が模擬面接を実施し、小論文の志望理由書と合わせて自己目標に向けての準備段階の質を上げていく。学年部と進路指導部で協力体制をつくって生徒の指導にあたる。 		
	学年の取組（1年）	<ul style="list-style-type: none"> ○ルール遵守・規範意識の育成 ルールの意味を理解させ、落ち着いた学校生活を送らせる。卒業後の社会生活を見越した指導をする。 ○学習習慣の確立 学習に取り組む姿勢を身につけさせる。日々の授業を大切に、生活習慣を整え、出された課題を確実に行う等、各々の課題と向き合い学力向上を目指す。 ○自己効力感の向上 さまざまな活動に自ら参加・挑戦し、ゴールへの到達経験を重ねさせる。また、自己と対峙させ、主体的に意思決定及び行動選択のできる生徒への育成を目指す。 		

学校関係評価委員会による評価	
次年度に向けた改善の方向性	